

# 外来担当医表 令和5年1月1日現在

診療科	月	火	水	木	金	
内科	1診	大橋 (循環器)	三木 (一般)	小嶋 (循環器)	伊賀 (循環器)	鈴木日子 (脳神経内科)
	2診	市川 (一般)	角南 (呼吸器)	角南 (呼吸器)	亀嶋 (消化器)	小嶋 (循環器)
	初診	鈴木日子 (脳神経内科)	亀嶋 (消化器)	大橋 (循環器)	三木 (一般)	角南 (呼吸器)
	4診	(初診)伊賀 (循環器)	(予約)鈴木賢治 (脳神経内科)		(初診)市川 (一般)	(初診)鈴木賢治 (脳神経内科)
	5診					(初診)田邊 (一般内科・血管外科)
	6診					水谷 (腎臓内科)
	午後(要予約)	角南 (呼吸器)		鈴木日子 (脳神経内科)		
もの忘れ外来 完全予約制 14:00~16:00		鈴木賢治 (脳神経内科) 第1・3火曜日		鈴木日子 (脳神経内科) 第2木曜日		
肺がん相談外来 午前			深井 (呼吸器外科)			
外科	1診	舟橋 (ヘルニア外来)	岡田	品川	岡田	品川
	2診		岩井	舟橋 (ヘルニア外来)	武田 (血管外科)	岩井
整形外科	1診	山田 (初診受付終了11時)	山田	加藤	山田 (初診受付終了11時)	山田
	2診	加藤 (初診受付終了11時)	代務医師	代務医師	加藤 (初診受付終了11時)	加藤
脳神経外科	1診	伊藤	伊藤	伊藤	今村 (受付終了11時)	伊藤
	2診			上田	上田	
眼科 完全予約制	1診	松田	松田	松田	松田	松田
	2診	江崎	江崎	江崎	江崎	江崎
	3診	松本	松本	松本	松本	松本
	4診	吉田	吉田	吉田	吉田	吉田
泌尿器科	永井	最上	最上	永井	最上	
皮膚科	代務医師		代務医師	代務医師		
耳鼻咽喉科		代務医師			代務医師	
婦人科	小林		古郡	古郡	小林	
リハビリテーション科					代務医師 第3金曜日	

※この診療体制は、都合により変更になる場合がございます。ご了承ください。

## 診察受付時間

午前8:30~11:30

## 再来受付機のご利用

午前8:00~11:30

## 面会時間

ご面会の方は事前にお問合せください

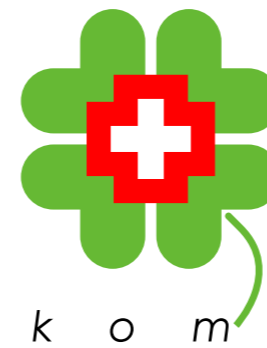
## 医療機関さまへ お知らせ

●内科への紹介患者さまは、初診担当医となりますので、初診担当医の専門領域に合わせて、ご紹介いただければ幸いです。

## 地域連携室からの お知らせ

●紹介患者さまに関するお問い合わせ、共同利用放射線科検査予約のお問合せは地域連携・医療相談室までお願いいたします。

☎ 059-393-1544



JA 三重厚生連 三重北医療センター 菰野厚生病院

# ふじだな 通信

k o m o n o k o s e i n e w s



## TOPIX

### ◆今号のぽっかぽか情報

・リハビリより“腹式呼吸と鼻呼吸”

### ◆こもの日和

・年頭のご挨拶

### ◆今号の TOPICS

・結石破砕装置を  
更新しました

### ◆Pick up News

・外国人技能実習生の  
受け入れが始まりました  
・「嚥下機能評価」「リハビリ」  
パッケージパスの紹介

### ◆外来担当医表

## 今号のぽっかぽか情報

### ホストナ 腹式呼吸と鼻呼吸

息を吐き切ってから、鼻から息を吸います、この時お腹を膨らませます。

ゆっくり、口から息を吐きます、この時お腹をへこませます。

吸うのと、吐く長さは、1:2の割合で吐くのを意識しましょう。効率よく体中に酸素がいきわたります。

鼻呼吸をすることにより、鼻毛・繊毛がフィルターの役目をしてくれてウイルスやゴミをキャッチしてくれます。



## 病院の理念

キラリと光る医療を提供し、地域の皆さまから愛され信頼され選ばれる病院をめざして職員一同努めてまいります。

## 編集後記

今号のこもの日和では、年頭のご挨拶他をお送りしました。コロナ渦で皆さんには感染対策にご協力いただいておりますが、今しばらくご協力いただきますようお願いいたします。また本誌へのご意見・ご感想・ご要望等、広報委員会までお寄せください。

三重北医療センター 菰野厚生病院 広報委員会  
〒510-1234 三重郡菰野町福村75 TEL059-393-1212 FAX059-394-2679

こもの  
日和

年頭のご挨拶



病院長  
小嶋 正義

新年明けましておめでとうございます。皆様方には健やかに新しい年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。長引くコロナ禍の影響により病院運営は厳しさを増しておりますが、当院といたしましてもアフターコロナいわゆるニューノーマルでの状況改善を見据えて病院機能の向上に取り組んでいます。その一つとして、昨年12月から地域包括ケア病棟において、嚥下機能障害および運動機能障害の方を対象とした入院プランの提供を開始しました。食事の時よく“むせる”など誤嚥性肺炎発症につながる恐れのある方、筋力低下や麻痺などが原因で日常生活にご不便を感じておられる方のお役に立てるものと確信しております。詳しくは当院地域連携室までお問い合わせください。また昨年10月から介護分野において外国人技能実習生の受け入れを開始しました。介護分野の人材不足は全国的な問題であり、当院においても介護人材の採用には難渋しておりましたが、今後は介護の分野にもより一層力を注ぎ、快適な入院生活を送っていただけるよう取り組んでいく所存です。菰野町唯一の病院として今後も地域のニーズに応えるべく努力してまいりますのでご支援のほどよろしく申し上げます。

今号の  
topics

結石破碎装置を更新しました

泌尿器科 副院長 最上 徹

2007年7月に設置の体外衝撃波結石破碎装置も設置後15年が経過し、この度最新機種に更新しました。今回設置された機種はドイツDornier社製DELTA III PROという最新機種です。

従来のDornier社製S IIと比べ、改良点としては

①治療時の皮膚面から破碎焦点までの距離の最大深度が15cmから17cmに延長された。

皮下脂肪層が分厚い、或いは筋骨隆々で皮膚から結石までの距離が深い場合に衝撃波が届かない場合があります。15cmから更に2cm深いところまで治療可能になりました。

②破碎装置が背側からの治療のみならず腹側からの治療も回転移動できるようになった。

骨盤内結石に対しうつぶせで行っていた破碎治療があおむけのまま可能になりました。

③治療中の皮膚面に接触するカップリングの内面にビデオカメラが内蔵された。

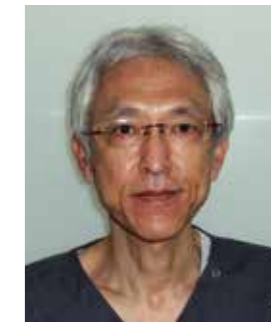
皮膚と衝撃波カップリング接触面のビデオモニタリングにより安全な治療が可能となります。

以上の長所を活用して今後もよりよい尿路結石破碎を行っていきます。



新任医師をご紹介します 外科/副院長 舟橋 整 (ふなはし ひとし)

外科の舟橋整と申します。大学から2013年に菰野厚生病院に着任後、2019年にいなべ総合病院での低侵襲手術センター開設に伴い離任しましたが、本年7月から当院に再赴任いたしました。今回、腹腔鏡手術を主としたヘルニアセンターを当院に開設いたしました(病院ホームページもご覧ください)。腹腔鏡でのヘルニア手術は、痛みが少なく、合併症がなければ、2~3日で退院可能になります。下腹部の腫れ、痛み、脱腸でのお悩みのある方は、どうぞ、相談にいらしてください。ヘルニア以外でも当院外科では、痛みの少ない腹腔鏡による低侵襲手術を主に行っています。相談だけでもかまいませんので、お困りになっていることがありましたらお気軽にお越しください。何が患者さんにとって一番良いのかを、一緒に考えていきたいと思っています。



Pick up News

Pick up  
01

外国人技能実習生の受け入れが始まりました



当院では、外国人技能実習制度で看護補助職種の実習生の受け入れを開始し、インドネシアから6名の実習生が仲間入りしました。外国人技能実習制度とは、技能、技術または知識の開発発展途上国等への移転を図り、経済発展を担う「人づくり」に協力する制度で、国際貢献としても重要な役割を果たしています。コロナの影響で外国への出入国ができず、日本への入国が予定よりかなり遅れましたが、入国できない間も「日本語を忘れない」ように、ひとりひとりが一生懸命努力してきました。実習生達の「日本語と介護を学びたい」という強い願いが叶い、10月1日より当院で実習を開始、技能実習指導員の指示のもとで、介護全般の実習をしています。3年間という実習期間の中で、介護技術と日本語を学び、実習生全員が自信をもって母国で活躍できるよう支援していきますので、ご理解・ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

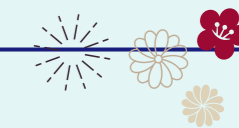


環境整備の様子

Pick up  
02

地域包括ケア病棟

「嚥下機能評価」「リハビリ」パッケージパスの紹介



地域包括ケア病棟では、「時々入院、ほぼ在宅」の方針のもとで、いつまでも住み慣れた場所で生活し続けられるよう支援させていただいております。その中でも介護者の負担軽減や、「ほっと一息」リフレッシュのためにご利用いただけるのが「レスパイト入院」です。そこで、当院ではもっと皆さんがイメージしやすく、利用患者さんやご家族の方の「今、困っていること」に合った支援を受けていただくために、当院の強みを活かした「嚥下機能評価」と「リハビリ」のパッケージパスを作成しました。パッケージとして事前に提示させていただくことで、入院後に患者さんがどのような目標のもとで、どんな支援が得られるのか具体的にイメージすることができます。

いつまでも住み慣れた場所で生活し続けられるように、当院のレスパイト入院を上手に活用してみませんか。個人に合った状態までの機能回復や、機能の維持のために利用することも選択肢の一つです。入院についてのご相談は右記へお願いします。

ご相談はこちら



菰野厚生病院 地域連携室

TEL 059-393-1544

受付時間：平日8:30~17:00